

**manordaいわて・日本航空・岩手日報社の3社連携による
新聞輸送トラック帰り便と航空輸送を組み合わせた新たな物流モデルの実証
～岩手の“とれたて・つくりたて”を当日中に「新大阪 Fresh MK Station」で販売～**

manordaいわて株式会社（本社：岩手県盛岡市、代表取締役：石川 恒介）では、新たな物流モデルへの取り組みとして、日本航空株式会社岩手営業所（所在地：岩手県盛岡市、営業所長：中井 大輔）、株式会社岩手日報社（本社：岩手県盛岡市、代表取締役社長：川村 公司）と相互に連携し、岩手県産食材の販路拡大および認知度向上を目的に、2026年7月18日（土）にエムケイ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：前川 博司）が運営する「新大阪 Fresh MK Station」（新大阪駅構内2階）にて開催される「東日本特産品フェア」において、岩手県産品の販売・PRを実施します。

本取り組みでは、岩手県産の旬の水産物や加工食品を販売するとともに、新たな物流スキームを活用することで、鮮度の高い県産食材を関西圏へ届け、岩手県産品の認知度向上と販路拡大を図ります。

通常、岩手から関西圏への輸送には2～3日程度を要する場合があります。鮮度が価値に直結する水産物や食品にとって、販路拡大の大きな制約となっていました。今回の実証では、「J-AIR直鮮サービス（※1）」を活用することで、岩手の“とれたて・つくりたて”をその日のうちに大阪へ届けます。

また、岩手県沿岸地域から花巻空港までの集荷には、株式会社岩手日報社が朝刊輸送後に空車で戻る新聞輸送トラックの帰り便（常温荷台）を活用します。これにより、これまで十分に活用されてこなかった既存の物流資源を有効活用し、広域県土を有する岩手県における集荷課題の解決、輸送効率の向上、環境負荷の低減につなげます。

本取り組みは、県産品の販路拡大にとどまらず、いわゆる「物流2024年問題」をはじめとする地域物流の社会課題に対し、航空輸送と地域内の既存輸送網を組み合わせることで新たな解決策を提示するものです。

弊社では、岩手県産食材の販路拡大を図るとともに、新たな物流モデルの構築により、地域産業の活性化と持続可能な物流の実現に貢献してまいります。

（※1）大阪国際（伊丹）空港を拠点とする株式会社ジェイエアの運航便において、各地の特産品を空陸一貫で高速・高鮮度輸送するサービス。地域事業者とお客さまのつながりを創出し、地域活性化に寄与するとともに、物流における社会問題の解決に向けて取り組む。

記

1. 背景：岩手の高鮮度産品が抱える物流課題

岩手県は広大な県土を有し、沿岸地域では魅力ある水産物や加工食品が数多く生産されています。一方で、沿岸地域でとれたての産品を、鮮度を保ったまま県外市場へ効率的に届けるには、距離や時間の壁がありました。

特に関西圏への通常輸送では2～3日程度を要することもあり、鮮度訴求が重要な商品ほど販路拡大が難しい状況にありました。また、物流業界ではドライバー不足や輸送力不足を背景に、いわゆ

る「物流2024年問題」への対応も引き続き求められています。

その一方で、地域内には、日々稼働しているにもかかわらず、復路で空きスペースが生じている物流資源も存在しています。今回着目したのが、岩手日報社の朝刊輸送後に空車で戻る新聞輸送トラックの有効活用です。3社のリソースを最適に組み合わせることで、地域の物流課題と販路課題を同時に解決する新たなモデルの構築を目指しています。

2. 仕組み：沿岸から空港、空港から大阪の売り場までをつなぐ高鮮度物流モデル

本実証では、岩手県沿岸地域で集荷した県産品を、花巻空港から大阪・伊丹空港へ航空輸送し、当日中に「新大阪 Fresh MK Station」の売り場へ届けます。

【物流モデルのイメージ】



- (1) 岩手県沿岸地域で水揚げ・生産された県産品を集荷
- (2) 岩手日報社の新聞輸送トラック帰便（常温荷台）の空きスペースを活用し、沿岸地域から花巻空港方面へ輸送
- (3) 花巻空港から「J-AIR直鮮サービス」により大阪・伊丹空港へ航空輸送
- (4) 伊丹空港から同サービスにより販売拠点へ輸送し、当日中に店頭で販売

3. 社会的意義：販路拡大と地域物流課題の解決を両立

本取り組みの意義は、県産品の販路拡大のみならず、地域に既に存在する物流インフラを組み合わせることで、地方が抱える物流課題に対する実践的な解決策の一つとして提示するものです。

【本取り組みが目指す価値】

- (1) 県産品の高付加価値化
 - ・鮮度そのものを価値として届けることで、岩手県産品の魅力をより高く訴求します。
- (2) 販路拡大と需要創出
 - ・関西圏の消費者に対し、これまで届きにくかった高鮮度商品を届けることで、新たな販売機会を創出します。
- (3) 既存物流資源の有効活用
 - ・新聞輸送トラックの帰便という未活用資源を活かし、輸送効率の向上を図ります。
- (4) 環境負荷低減への貢献
 - ・既存便の空きスペース活用により、物流全体の効率化と環境負荷低減につながります。
- (5) 地域物流の持続可能性向上
 - ・いわゆる「物流2024年問題」を背景に、地域内輸送と航空輸送を組み合わせた新たな物流モデルを示します。

4. フェア開催概要

フ ェ ア	東日本特産品フェア
開 催 日	2026年7月18日（土）※商品なくなり次第終了
提 供 場 所	新大阪 Fresh MK Station 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目16-1 アルデ新大阪（JR新大阪駅構内2階）
営 業 時 間	9:00～21:00 ※飛行機便商品の販売開始は昼頃を予定
内 容	北海道、東北、中部のご当地食品や、旬の食材を販売

※フェアのチラシは別紙のとおり。

※天候や交通事情、不漁等により商品内容や到着時間が変更・中止となる場合があります。

5. 県産品提供事業者（順不同）

事業者名	食 材
有限会社ヤマキイチ商店（岩手県釜石市）	※ 泳ぐホタテ
有限会社マルタマ横道商店（青森県階上町）	※ 瓶ウニ(40g、150g)
有限会社山善（岩手県盛岡市）	もちもち焼
株式会社砂田屋（岩手県盛岡市）	南部杜氏の酒ケーキ(9種)
ハコショウ食品工業株式会社（岩手県花巻市）	吞んべえ漬
小岩井農牧株式会社（岩手県雫石町）	小岩井農場育ちのむヨーグルト

※沿岸地域からのトラック輸送商品

【ヤマキイチ商店：泳ぐホタテ】



【マルタマ横道商店：瓶ウニ】



6. 本件に関するお問い合わせ先

manordaいわて株式会社：担当 幅下、田幸

電話番号：019-624-8100

以 上

7/18開催! 新幹線・飛行機で当日お届け 東日本特産品フェア

開催場所

新大阪駅 2F アルデ新大阪内 新大阪 Fresh MK Station
営業時間 9:00～21:30 ※フェア開始は昼以降を予定しております

関西ではなかなか手に入らない東日本エリアの商品・食材が
7月18日新大阪 Fresh MK Stationに集結!

当日できたて・とれたての商品・食材を数量限定で販売いたします

✕ 第1弾: 飛行機でお届け! 12:00～12:30頃



岩手県

ヤマキイチ商店

「ヤマキイチ商店の泳ぐホタテ」は泳ぐほど鮮度が良い三陸産のほたてです。身は肉厚で、濃厚な味わいが特長です。大きさ、味、鮮度——これまでのホタテのイメージが覆る美味しさ。



青森県

マルタマ横道商店

獲れたての新鮮な美味しさをそのまま食卓へ。新鮮な国産の生うにを瓶に詰めてお届けします。生うに丼はもちろん、お刺身でも、うにの甘みと濃厚な味わいをご堪能いただける一品です。

🚆 第2弾: 新幹線でお届け! 17:00～17:30頃



北海道

BAKERY ONE CARAT

生地に北海道産の小麦粉を100%使用し、さらに根釧地区の生クリーム、十勝産の濃厚なクリームチーズなど北海道の素材にこだわり、超リッチな配合のしっとり柔らかな食パン。「Japan Brand Collection 2022 日本の贈答品100選」にも選ばれた逸品です。(7/18のみの限定発売)



青森県

Angélique (アンジェリック)

週末は午前中で売り切れてしまうこともある、アンジェリックの看板スイーツ「アップルパイ」。りんご本来のおいしさと、その酸味や甘味を引き出しながら全体のバランスを調和するサクサク＆ザクザクのパイです。(7/18のみの限定発売)

そのほかにもさまざまな商品をお届けいたします!



※売り切れ次第終了となりますのであらかじめご了承ください

※天候等により急遽中止や、不漁により入荷できない場合がございます

新大阪 Fresh MK Station